

1. 業務量・体制・収益費用の概要

	R5(税抜き)						R6(税抜き)						R7(税抜き)						同規模病院 100床以上200床未満 (R6地方公営企業年鑑)														
病床数	許可	149		稼働	149			許可	149		稼働	149			許可	149		稼働	149			地域 包括	45	黒字平均	赤字平均								
				一般	104	地域 包括		45				一般	104		地域 包括	45				一般						104	地域 包括	45					
患者数	入院	32,418		1日	89		利用率	59.4%		入院	34,203		1日	94		利用率	62.9%		入院	31,925		1日	87		利用率	58.7%		1日	108		1日	103	
	外来	36,400		1日	150					外来	36,939		1日	152					外来	36,491		1日	151					1日	197		1日	279	
人員体制			常勤		非常勤					常勤		非常勤					常勤		非常勤					常勤		非常勤		常勤					
	医師		8		0			医師		8		0			医師		8		0			7.7		13.0									
	看護師		80		10			看護師		78		10			看護師		78		9			53.5		85.2									
	コメディカル		26		11			コメディカル		25		12			コメディカル		28		12			28.0		38.0									
	事務他		6		10			事務他		6		12			事務他		6		13			15.2		20.1									
収益		金額(百万)		単価(円)		補助金 (百万)		繰入 (百万)			金額(百万)		単価(円)		補助金 (百万)		繰入 (百万)			金額(百万)		単価(円)		補助金 (百万)		繰入 (百万)		単価(円)					
	入院	1,118		34,475		72	220	入院	1,141		33,351		3	240	入院	1,199		37,560		45	243	入院	1,199		37,560		24,169		37,856				
	外来	319		8,747				外来	335		9,064				外来	350		9,578				7,170		10,510									
医業費用	金額(百万)			対経常収益比率			金額(百万)			対経常収益比率			金額(百万)			対経常収益比率			対経常収益比率														
	1,994						2,064						2,205																				
	給与費			1,167			60.9%			1,181			60.2%			1,272			61.3%			44.4%		57.1%									
	材料費			216			11.3%			209			10.7%			243			11.7%			8.7%		15.2%									
	経費			371			19.4%			385			19.6%			399			19.2%			29.6%		22.7%									
	減価償却			212			11.1%			260			13.3%			260			12.5%			9.8%		8.5%									

2. 担っている役割・機能

- (1) 朝来市唯一の公立病院として行政や地元開業医等との連携を図り地域完結型医療を提供
※地元開業医よりCT・マンモ・骨密度等の検査受託、MRIは八鹿病院へ検査依頼
- (2) 豊岡病院からの転院患者を積極的に受入れ、豊岡病院の後送病院としての役割を担う【転院患者受入実績】R3:92人 → R4:152人 → R5:172人 → R6:180人 → R7:222人
- (3) 地域包括ケア病棟（45床）を有し、在宅復帰支援を推進【地域包括ケア病床】H29年導入22床 → H30年5床増（27床） → R2年19床増（46床） → R3年1床減（45床）
- (4) リハビリテーションの充実による回復期機能
- (5) 救急告示病院として南但馬地域の救急医療（内科・整形外科）を担う
※救急搬送患者の受入れ拡大(R4～)【救急搬送患者受入実績】R3:205件 → R4:337件 → R5:415件 → R6:427件 → R7:404件
※南但消防本部との連携強化（意見交換会の開催・病院実習の受け入れ 等）
- (6) 人工関節手術等、整形外科疾患への対応
- (7) 分娩施設と連携した周産期医療等の提供(R5.10～)
※妊娠30週までの検診、婦人科疾患への対応

3. 経営上の課題

(1) 病床規模に見合った医師数の確保ができず病床利用率が低迷

※老朽化した梁瀬医療センター(50床)と和田山医療センター(139床)の後継病院として、平成28年度に180床規模(4病棟)の病院として建築したが、医師不足により開院当初から3病棟で運営している

※県養成医師派遣と神戸大学からの医師派遣医より医療機能を維持している状態であるが、今後の医師確保（医師数増）の見通しは立っていない。

内科医：院長の他4名（全て県養成医）、整形外科：神戸大学から3名派遣（原則）

※開院以降、病床利用率は60%前後を推移

(2) 頻繁な医師交代による年度末・年度始めの患者減少

(3) 出張診療応援（当直等）による費用の増加

上記の理由等により赤字経営が続いている。

4. 投資計画（老朽化の課題）

(1) 平成28年5月に新築移転したため、現時点で大規模な改修等の予定はない。

但馬医療圏域内の公立病院の中で最も新しい施設であり、機能を最大限活用すべきであるが、上記のとおり一部機能は開院後休止が続いている。

5. あり方検討（これまでの経緯）

(1) 平成19年 公立豊岡病院組合立病院あり方検討委員会（梁瀬・和田山医療センター統合すべきと答申）

(2) 平成22年 梁瀬・和田山医療センター連携検討会議設置

(3) 平成24年 朝来医療センター基本構想・基本計画策定

(4) 平成26年 基本設計・実施設計

(5) 平成27年 整備工事着工

(6) 平成28年 朝来医療センター（150床）開院 ※一般104床、療養46床

(7) 令和 2年 療養病床を全て地域包括ケア病床へ転換

(8) 令和 5年 産婦人科外来開設

(9) 令和 7年 リウマチ外来開設